



ニッチプログラムアフィリエイト

SEO 編

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。
できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)
<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意いただきご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。
著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を
いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、
この商材の全部又は一部をいかなる手段においても
複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、
関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、
民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。
著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、
見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、
万一誤り、不正確な情報等がありましても、
著者・パートナー等の業務提携者は、
一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、
著者・パートナー等の業務提携者は、
一切の責任を負わないことをご了承願います。

◎目次

【SEO を極めよう】	4
■内的 SEO と外的 SEO.....	4
■内的 SEO の基本 6 つのポイント	5
■タイトルのつけ方	6
■メタキーワードとメタディスクリプション	7
■<h>タグ	7
■キーワードの出現頻度	8
■キーワードの使い方	9
■ソース（テンプレート）	12
【上位表示のカギを握る効果的な外的 SEO】	14
■リンクは「数」と「質」を意識する	14
■リンク元を分散しよう	18
■アンカーテキストの設定方法	19
■同ジャンルの媒体からリンクしよう	22
■被リンクの数を一気に増やさない	23
■無料ブログ（サテライトブログ）	25
■ソーシャルブックマーク（S B M）	34
■ブログのコメント周り	36
■他にもある！ 外的 SEO	42
■リンクの階層構造について	45
■リンクファームに注意！	47

【SEO を極めよう】

サイトが完成したあとは、
いよいよアクセスが集まるように集客をしていかなければなりません。

ラーメン屋や花屋など実店舗をオープンするときも、
お客さんを集めるためにチラシを配ったりと
効果的な宣伝方法を考えたりしますよね？

それと同じようにインターネット上でサイトを作ったときも、
お客さんを増やすよう努力しなければいけません。

インターネット上でも宣伝方法は色々ありますが、
NPA では「SEO」を行って集客する方法を取ります。

SEO は「Search Engine Optimization
(サーチ・エンジン・オプティミゼーション)」を略したもので、
日本語では「検索エンジン最適化」と言います。

アフィリエイトで SEO を行うことは基本なので、
すでにご存じの方もいると思いますが、確認をかねて説明をいたします。

■内的 SEO と外的 SEO

検索順位をあげるための手法を SEO と呼ぶとお話ししましたが、
具体的にどのような手法を行っていくのかお話しします。

まず SEO には**内的 SEO** と**外的 SEO** の2種類があります。

簡単に言ってしまうと、内的 SEO とは
サイト自体の質・魅力を向上させて、
検索エンジンに優良なサイトであると認めてもらう方法です。

一方、外的 SEO とは、まわりの人（サイトなど）たちに
自分のサイトは「良いサイト」と評価してもらい、検索エンジンに
「こんなに多くの人に人気があるというのは、すばらしいサイトだ」と
認識してもらうための手法です。

ラーメン屋で例えるならば、ラーメンそのものの味や店の内装などをよくし、
店自体の質・魅力をあげることが**内的 SEO**、

地元の雑誌・フリーペーパーに紹介してもらったり、
知り合いに「おいしい店って、友達に言っといて」と口コミが広がるように
宣伝に力を入れることが**外的 SEO** になります。

ラーメン屋に限らず、全ての商売で必要な考え方だと思います。

■内的 SEO の基本 6 つのポイント

まずは内的 SEO から紹介していきます。

そもそも、内的 SEO はサイトの質をあげて、
検索エンジンに優良なサイトと認めてもらう方法とお話しましたが、
闇雲に行っても効率的ではありません。

どんなポイントに注意をすればよいのか、ざっとあげていきます。

- ・ タイトルのつけ方
- ・ メタキーワードとメタディスクリプション
- ・ <h>タグ
- ・ キーワードの出現頻度
- ・ キーワードの使い方
- ・ ソース (テンプレート)

主な項目としては以上のものがあげられます。
順番に解説をしていきますね。

■ タイトルのつけ方

すでにキーワード編でお話ししましたが、
タイトルのつけ方ですね。

タイトルに狙っているキーワードを使ったり、
できるだけはじめにキーワードを置いたり、
タイトルのつけ方1つで検索順位が変わることがあります。

内的 SEO の中でも特に**重要**で、他の内的 SEO 全部やるよりも、
これ1つをちゃんとやった方が効果があると思います。
(もちろん、他の内的 SEO もやらないとダメですが…)

不安がある方は、もう一度マニュアルを見直して、
確認をしておいてください。

■メタキーワードとメタディスクリプション

サイト完成後に設定するようお伝えしました
メタキーワードとメタディスクリプションです。

効果はあまり高くありませんが、
検索エンジンに自分のサイトが
どんなサイトか知らせることができます。

狙ったキーワードで上位表示させるために多少ながらも役立ちますので、
忘れないよう設定してください。

手間でなければ、ページごとに変えていってもよいですが、
効果と手間のバランスを考えると、
全ページ同じでもよいと思います。

それか、**購買意欲の強いキーワードのページだけ、
他と変えてみるという方法もアリですね。**

■<h>タグ

HTML タグの 1 つで、
見出しなどの強調したい部分に使うタグです。

重要度に応じて、<h1>から<h6>まで 6 種類あります。

見出しなどの重要な部分に使われるので、

当然検索エンジン側も<h>タグに使われる言葉は
重要な単語だと認識します。

ですので、各ページごとに上位表示させたい
重要な単語を設定するようにしましょう。

ちなみに AQUAS などのサイト作成ツールは、
簡単に<h1>タグ設定ができたり、
記事タイトルに入力した部分が自動的に<h>タグで
装飾される仕様になっているものが多いので、便利です。



■キーワードの出現頻度

サイト完成後のチェック項目にありましたキーワードの出現頻度ですね。

この出現頻度が低すぎても、高すぎてもいけません。
だいたい **3～7%内**に収まるようにしましょう。

キーワードの出現頻度は下記サイトでチェックしてください。

『キーワード出現頻度解析ツール』
http://www.searchengineoptimization.jp/tools/keyword_density_analyzer.html

■キーワードの使い方

実はキーワードは使用回数だけでなく、
使い方によっても SEO 効果が異なります。

▼記事の前半にキーワードをやや多く入れる

キーワードは記事全体で均等に使うよりも、
記事内の前半にやや多く入れた方がよいとされています。

なぜかという、検索エンジンが HTML ソース(コンテンツ)の前半ほど、
内容を重要視しているためです。

これは、ページ内の前半に見出しなど
テーマに関する情報が多く出てくるといふ仮説に基づいているからです。

バッティングの上達ナビ

「自分には**バッティング**センスがないんだ」と諦めていませんか？

確かに、**バッティング**には、センスも必要でしょう。

しかし、当然、センスだけでは、上手にもなりません。

大事なのは、基本を抑えて、目指すバッタータイプに合った打ち方を習得することです。

さて、あなたが**バッティング**の上達を目指す理由は何ですか？

記事の前半にキーワードをやや多く持ってくる

逆に後半は、キーワードの使いすぎを避けるために

少なめにした方がよいと思います。

つまり、打撃を上達させるには、まずは基礎から学ぶことが大切です。

これから、**バッティング**の構え方からフォーム、タイミングのとり方や、練習方法はもちろん、打撃の理論やコツを説明していきます。

しかし、これらを学んでいくうちに、色々と意識しすぎて、最も基本となる「ボールをよく見る」ことを忘れてしまいがちです。

とても大事な部分なので、打てなくて悩んでいるときは、フォームや打撃理論だけでなく、この点についても、必ず思い出してみてください。

このサイトが少しでもみなさんのお役に立てば幸いです。
少しずつでもいいので、自分の目標に向かってがんばってください。
サイトを通して、応援をさせていただきます！

後半の記事はキーワードを少なめにする

▼キーワード同士の近接度

キーワード同士の近接度とは、
今回で言えば「バッティング」というキーワード同士が
使われている位置の近さを指します。

なぜ、この近接度が SEO と関係するのかというと、
同じキーワードが近い位置で繰り返し使われていると、
検索エンジンに不自然と判断され、
検索順位を落とす可能性があるからです。

下記のように、キーワードの位置が近すぎると、
かなり不自然ですし、検索エンジンに嫌われる可能性も高くなります。

バッティングの上達法ナビ

「自分には**バッティング**センスがないんだ」と**バッティング**の上達を諦めていませんか？

確かに**バッティング**には**バッティング**センスも必要でしょう。

しかし、当然、**バッティング**センスだけでは、上達できません。

キーワードの近接度が近すぎる

不自然にならない程度にキーワードを使えば、問題ありません。

バッティングの上達法ナビ

「自分には**バッティング**センスがないんだ」と諦めていませんか？

確かに**バッティング**には、センスも必要でしょう。

しかし、当然、センスだけでは、上達できません。

同じキーワードは近づきすぎないようにする

なお、キーワードの近接度が問題になるのは、同じキーワード同士の場合です。

メインキーワードとサポートキーワードが近い場合は、まったく問題ありません。

むしろ、関連キーワードの密接度が高いので、SEO 効果が高まるとも言われています。

あなたが**バッティング**の**上達**を目指す理由

同じキーワード同士でなければOK

この「記事の前半にキーワードをやや多く入れる」と
「キーワード同士の近接度」の2点ですが、記事作成時に行えることです。

ただ、このマニュアルではあえて記事作成編で、説明しませんでした。

なぜかという、記事作成自体が大変なのに、
さらに注意しなければいけない点があると、
作業効率が悪くなるからです。

また、私自身そこまでSEO効果が大きい項目ではないと思うからです。

もちろん、しないよりはした方がよいですが、
意識しすぎてあまりストレスになるようなら、
やらなくてもよいと思います。

実際、私もキーワードの出現頻度はチェックしますが、
キーワードの使い方については、ほとんど意識していません。

それでも、上位表示はできているので、
それほど神経質にならなくてもよいかなと思います。

■ソース（テンプレート）

こちらもサイト完成後のチェック項目でありましたね。

HTML タグに誤りがあったり、
非推奨の HTML タグが使われていたりすると、
SEO 面で悪い影響が出ます。

ただ、AQUAS などのテンプレートは、
[『Another HTML-lint gateway』](#)で
チェックしてもエラーが出ないよう、キレイなソースになっています。

その他の有料テンプレートはもちろん無料テンプレートでも、
しっかり SEO 対策の取られたものもあるようですので、
テンプレートを選ぶ際はキレイなソースのものを選びましょう。

以上が主な内的 SEO 項目になります。

このあと説明する外的 SEO と違い、
自分で取り組めるものばかりなので、
自分の努力次第でいくらかでも改善が期待できます。

なお、この内的 SEO については、
どれもマニュアル内で説明してきた項目です。

マニュアルどおり作業を進めていただければ、
ここで改めて行うことはないと思いますが、
とても重要なポイントなので、
問題はないか確認はしておいてください。

【上位表示のカギを握る効果的な外的 SEO】

ここでは、外的 SEO について解説をしていきます。

外的 SEO はサイト自身ではなく、
まわりの外的要因に SEO を施していく手法です。

最初の説明でまわりのサイト（人）に自分のサイトのことを
「良いサイト」と宣伝、評価してもらおうとお話しましたが、
どのように自分のサイトを薦めてもらえば、よいのでしょうか。

実は検索エンジンに認めてもらうには、
他のサイトに、「このサイトはいいよ」と
書いてもらっても効果がありません。

検索エンジンに評価の高いサイトと認めてもらう方法は、
他のサイトから「**リンク**」をもらうことが一番なんです。

■リンクは「数」と「質」を意識する

通常、人気のあるサイトや読者の多いサイトは、
多くのサイトからリンクを貼られています。

ですので、検索エンジンもリンクが多く貼られているサイトほど、
評価の高い、優良なサイトと判断する傾向があります。

もちろん、判断基準はリンクの数だけではありません。

リンクの質も重要視しているのです。

リンクの質とは、どんなサイトからリンクが貼られているか、
リンク元サイトの質のことを指します。

リンクの数が同じでも、できたばかりの人気のないサイトからのリンクと、
読者も多い人気のあるサイトからのリンクでは、
当然後者の方がリンクの質が高いと判断されます。

つまりリンクをもらう上で大事ななのは、「数」と「質」ということです。

そのことを必ず念頭において外的 SEO を施していく必要があります。。

NPAで作るサイトはペラサイトではありませんので
テーマについて調べた上で記事を書いています。

気に入ってもらえる確率が高いので、
他のサイトからリンクを貼ってもらえることがあります。

ただ、サイトを立ち上げたばかりでは
なかなかリンクが集まりませんので、
自分でリンク元を用意する必要があります。

詳しくは後述しますが、
NPAでは無料ブログを開設したり、
ソーシャルブックマーク(SBM: Social Book Mark) を用意したりして、
自分でメインサイトにリンクを送るようにします。

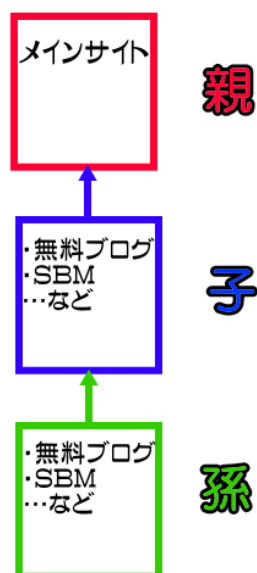
ただ初心者アフィリエイトで問題なのは、
さきほどお話ししたリンクの「質」の部分です。

リンクの「数」については、ただ単に作業を増やせば、
リンクを送る無料ブログやソーシャルブックマークを
いくらでも作成できます。

ただ、リンクの「質」に関しては、簡単にはいきなりできず、
評価の高いサイト（ブログ）にするには時間もかかります。

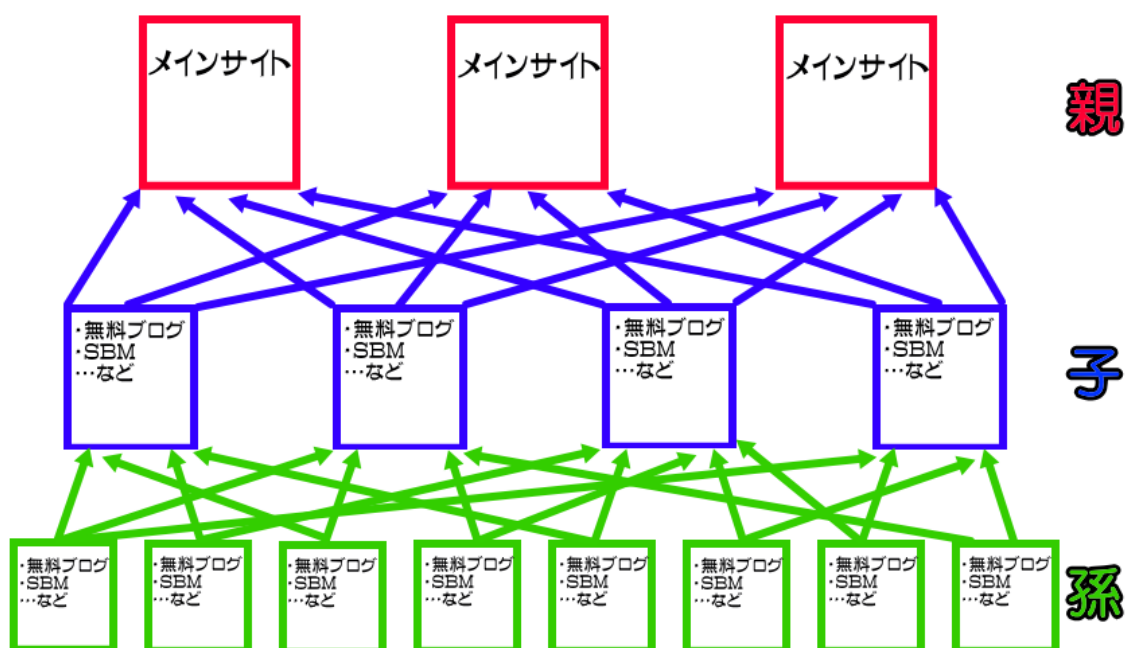
そこで、メインサイトにリンクを送るリンク元にも
別のブログなどからリンクを送り、
リンク元の質を高める必要があります。

イメージとしては下記の図のような感じです。



※当マニュアルでは、メインサイトを「親」として、その下のリンク元を「子」、
さらにその「子」にリンクを送る媒体を「孫」として説明します。

実際にはメインサイトも、無料ブログ、ソーシャルブックマークも複数作っていきますので、全体的には下記のような構図になります。



この場合、**各メインサイトは同じジャンル**にします。

「美容系」ジャンルなら各メインサイトのテーマは「脚痩せダイエット」「アンチエイジング」「乾燥肌対策」など、「健康系」ジャンルなら各メインサイトのテーマは「糖尿病」「外反母趾」「肺ガン」などのようにしましょう。

別のジャンルでサイトを作るときは、
また新たに無料ブログ、ソーシャルブックマークを用意します。

こうすれば、メインサイトのリンク元「子」も質が上がりますので、結果的にメインサイトである「親」のSEO効果が高まります。

これが外的SEOの概要図になりますので、

しっかり頭に入れて置いてください。

なお、メインサイトにリンクを送る無料ブログなどを
サテライトブログと呼びます。

サテライトとは「衛星」という意味で、
メインサイトを囲むようにリンクを送るブログを、
メインサイトの衛星と例え、サテライトブログと言います。

リンクを送るリンク元がサイトなら、**サテライトサイト**ですね。

後ほど、どのような外的 SEO を施すか、
具体的にお話をしていきますが、
その前に外的 SEO をする際のポイント、注意点を紹介していきます。

■リンク元を分散しよう

たとえばリンク元である無料ブログからリンクを送る場合ですが、
同じブログサービスからだけリンクを送るようなことはしないでください。

同じブログサービスからだけリンクを受けているとなると、
検索エンジンに不自然なリンクとわれてしまいます。

より自然にリンクを受けているようにしなければいけないので、
ブログ会社を分けてリンクを送らなければなりません。

Seesaa ブログなどは、

1つのメールアドレスで複数のブログが開設できますので、Seesaa ブログだけでブログを量産して、リンクした方が楽ですが**危険**です。

10個のブログからメインサイトにリンクを送る場合でも、**Seesaa ブログを10個作るのではなく、ライブドアブログ、so-net ブログなど各ブログサービスごとに1ずつ作って計10個にしてください。**

もちろん、無料ブログに限りません。

ソーシャルブックマークからリンクを送るときも、同じサービスからだけでなく、必ず分散させてください。

■アンカーテキストの設定方法

アンカーテキストとは、リンクを貼っている部分のテキストを指します。

[バッティング上達](#) ← **この場合「バッティング上達」がアンカーテキストになります**

実はこのアンカーテキスト、どのようなテキストにするか、とても重要です。

リンクを送るのだから、単純にサイトタイトルをそのまま書いて送ればよいように思いますが、SEO 効果を高めるためには、より工夫をする必要があります。

まず大事ななのは、アンカーテキストには、
上位表示させたいキーワードを含ませるということです。

ただし、ただキーワードが入っているだけでは、少し弱いです。

**一番よいのは、訪問者の目線に立って、
検索されるフレーズと同じフレーズに設定することです。**

『バッティングの上達法ナビ』では、
「バッティング 上達」というキーワードで
検索してくる人のアクセスを狙っていますが、
この「バッティング 上達」というフレーズを、
そのままアンカーテキストとして使用するんです。

「バッティング 上達」というアンカーテキストで
リンクが貼られていると、
検索エンジンは「バッティング 上達」という
フレーズと関連性の高いサイトと認識し、
より上位表示がされやすくなります。

もちろん、サイトタイトル『バッティングの上達法ナビ』でも、
キーワードは入っていますので、
「バッティング 上達」で検索されたとき、
上位表示することは可能です。

ただ、より上位表示させるためには、
アンカーテキストを「バッティング 上達」とした方がよいわけです。

ただし、このアンカーテキストも

同じ「バッティング 上達」ばかりでリンクされていると検索エンジンに不自然と思われます。

ですので、自然さをもたせるために、
アンカーテキストは「バッティング 上達」をメインにしつつ、
「バッティング」「バッティングの上達」「バッティングの上達法ナビ」
「バッティング上達したい」など、分散してリンクをすることが重要です。

ちなみに「こちら」なんていうキーワードが全く入っていないアンカーテキストは問題外ですので、ご注意ください。



「バッティング 上達」のような複合キーワードのアンカーテキストについて補足です。

現状ではとても効果的な方法ですが、
実は将来的にはスパム判定を受ける可能性があります。

なぜかという、アフィリエイトをしない一般の人は、
通常「バッティング 上達」のような複合キーワードで
リンクを送ったりしないからです。

普通はサイトのタイトルか、
「バッティングについて解説しているサイト」「バッティング」
「バッティングの上達」などのような1語、1文でリンクをします。

つまり「バッティング 上達」のような複合キーワードを使う人は、自作自演でリンクを送るアフィリエイトがほとんどなわけです。

検索エンジンとしても自作自演でリンクが送られるようなサイトを高く評価したくありませんから、今後「バッティング 上達」などのような複合キーワードのアンカーテキストは高く評価しない可能性あります。

ただし、このことは何年も前から言われていますが、
いまだに SEO 効果があります。

ですので、検索エンジンの基準が変わるまでは、今回お話しした通り、複合キーワードをメインのアンカーテキストとして、リンクしていいと思います。

検索エンジン側で複合キーワードに対して、評価しなくなれば、その時に対応していけばよいので。

ただし、複合キーワードだけでリンクを送っていると、一気に検索圏外に飛ぶ可能性もあるので、さきほど話したとおり、アンカーテキストはいくつに分けて設定してください。

■同ジャンルの媒体からリンクしよう

リンク元のジャンルが、
リンクを受けるサイトと同じジャンルであれば、
リンクの効果が高まります。

『バッティングの上達法ナビ』にリンクを送るのであれば
当然リンク元も同じ野球、せめてスポーツ系のブログなどいいわけです。

無料ブログからリンクを送る場合だけでなく、
ソーシャルブックマークなど他の媒体でも同じです。

ダイエットや株式投資、英語などいろんなジャンルのサイトを
登録しているブックマークよりも、
同じジャンルのサイトが登録されているブックマークの方が
効果は高くなります。

■被リンクの数を一気に増やさない

被リンクとは、他のブログ・サイトからリンクを受けることを言うんですね。

今まで外的 SEO では、
多くの無料ブログ、ソーシャルブックマークなどから
メインサイトにリンクを送ると説明しましたが、
言い方を変えれば、**メインサイトの被リンク数を増やす**ということです。

ただし、この被リンク数は一気に増やしすぎてはいけません。

できたばかりのサイトで急に被リンクが増えたりすると
検索エンジンは自作自演で意図的に SEO をしていると判断し、
ペナルティを与える可能性があるからです。

あくまで、自然なペースでリンクが増えているように見せなければいけません。
(何度も「自然」という言葉が出てきていますが、かなり重要です)

当然、検索エンジンが独自に判断しているので、
1 日あたり何個までの被リンクなら OK という基準は
わたしたちアフィリエイトには分かりません。

サイトの運営年数などによっても変わってきますし、
時が経つにつれ基準が変わることもあると思います。

ですので、被リンクを増やす際は、
ペナルティを受けないよう余裕をみておくが大事です。

私自身は月に 100 個くらいの被リンクを目標につけていました。

ただし、毎日きっちり 3 個ずつという形ではなく、
初日は 5 個、2 日目は 0 個、3 日目は 3 個…などのように
ランダムにやっていました。

その日の気分次第ですね。

ただランダムに被リンクを増やした方が
検索エンジンにも自然なリンクと思われるのでよいと思います。

※あくまで私が当時行っていたもので、いま月に 100 個までなら絶対に安全と
いうわけではありません。あくまで検索エンジンが独自に判断しているので、
どんなに数が少なくてもリスクはあるということは覚えておいてください。

外的 SEO にもいろいろ手法がありますが、
私がお薦めしているのは下記の方法です。

- ・サテライトブログ
- ・ソーシャルブックマーク
- ・ブログのコメント周り

すでによく知っている人もいますが、
1つずつお話をしていきますね。

■無料ブログ（サテライトブログ）

メインサイトにリンクを送るリンク元で、
コスト・手間・効果を総合的に考え、
一番良いと思われるのが無料ブログです。

ですので、この無料ブログは必ずやるようにしましょう。

はじめはブログ開設の手間がかかりますが、
そのあとはメインサイトを作るたびに、
記事を更新するだけでよいので、だいぶ楽になると思います。

サテライトブログはリンクを送ることが目的ですので、
メインサイトほど記事に凝ったりはしません。（日記形式でも良い）

数を作ることが大事ですので、
細かいことにはこだわらずドンドン作っていきます。

▼ブログの開設について

さきほどお話したようにサービス会社を分けて、

リンクを送ることが大切になります。

1社1ブログずつですね。

リストにあるブログ会社であれば、どこでもかまいません。

開設にあたって、細かい設定をする必要はありませんが、
日記のようなブログを書いていきますので、
ブログのタイトルは「まゆみの日記」「マイケルの呑気な1日」
「ごん's diary」などのようなものでかまいません。
なお面倒でなければ、コメント、トラックバックだけは
「受け付けない」に設定しておいた方がよいと思います。

コメントなどが書き込まれると、ブログが更新されたことになるので、
SEO的にプラスになりますが、
アダルトサイトへの誘導リンクが貼られているとマイナス評価になるため、
トータルで考えると、受け付けない方がよいと思われます。

また、ブログの内容についてですが、
本当であればメインサイトと同じジャンルの方が
リンク効果が高まるので良いです。

今回で言えば、スポーツ関連のブログで、
「ひろみちの野球日記」「サッカー漬けな日々」
「水泳を極めよう」などのようなブログの方が、
メインサイトと関連性が強いので、良いわけです。

ただ、サテライトブログの記事は何記事も書くため、
同じジャンルの記事ばかりだと、だんだん書きにくくなってきます。

それに比べ、日記ブログであれば、内容は何でもよいですし、テレビでやっていた話やその感想なんかでもいいわけです。

「今日は体がだるくて、ぼっーとしています」なんていう、
どうでもいいような文章でも記事になりますので、
私の場合、サテライトブログはほとんど日記ブログにしています。

もちろんお好みなので、記事がかける方はメインサイトと
同じジャンルでブログを作ってください OK です。

▼記事の書き方

開設が終わりましたら、記事を書いていきます。
内容はさきほどお話ししたとおり、日記のような記事でかまいません。

たとえば下記の図のような感じですね。

今日はひさしぶりにグラタンを作ってみました。

ホワイトソース作りからやってみたんですが、ダメにならずに作るのは、
結構大変ですね。

ちょっと微妙な出来上がりになってしまいました.....。

表面のチーズはうまく焼き上がって最高なんだけど。

次こそうまく作れるようにしたいですね。

なお、この記事ですが、開設するごとに記事を考えて入力していくと、
さすがに手間がかかりますし、効率も悪いです。

そこで私は、ブログを開設する前に、
まとめて 20 記事書いておく方法をとりました。

一気に書き進められるので、
一旦リズムに乗るとブログを開設することに記事を書くより、
圧倒的にスピードが早くなりました。

20 記事分の記事を貯めておけば
あとはブログを開設するたびに
1 記事ずつ貼り付けていけば OK です。

▼ブログの更新頻度

明確な決まりはありませんが、
1 週間に 2 ～ 3 回でよいと思います。

更新の頻度が高すぎると、急激にリンクが増え、
検索エンジンに睨まれますので、特に注意をしてください。

間隔が空く分には、特に問題はありません。

リンクがすぐに認識されないため、
上位表示されるスピードは遅くなりますが、
ペナルティも受けにくく安全です。

▼リンクの位置

ここではリンクの貼る位置についてお話します。

一般に記事の中にリンクをはる場合は、下記の2種類があります。

まず1つ目は文中にリンクを仕込むパターン

なんでも今年は日本シリーズがテレビで放送されないとかで、
野球人気も落ちてきてしまったんでしょうか。

野球少年だったんで、かなり残念ですね。
子どもころはよく [バッティングセンター](#) 行ったりしていました。

そのわりには、まった [バッティングが上達](#) せず、
塁に出られるのは、四球かエラーばかりでした(汗)

また、野球やってみたくくなりましたね。

もう1つは記事の最後にリンクを貼るパターン

今日はひさしぶりにグラタンを作ってみました。

ホワイトソース作りからやってみたんですが、ダメにならずに作るの、
結構大変ですね。

ちょっと微妙な出来上がりになってしまいました……。

表面のチーズはうまく焼き上がって最高なんだけど。

次こそうまく作れるようにしたいですね。

[バッティング 上達](#) [バッティングのコツ](#)

前者のメリットは自然なリンク方法なので、
ブログ会社にブログを削除されにくいという点があります。

反面、デメリットとしては記事の中にアンカーテキストを
入れなければいけないので、記事作成の際に少し面倒になるという点です。

続いて後者のメリットですが、
アンカーテキストにこだわらず、記事がかけるので、
記事作成が楽ということです。

逆にデメリットは、
ブログを削除される可能性が少し高いということですね。
個人的には後者の方法をお薦めしています。

なぜかという、そのまんまですが記事が書きやすいから。

リンクを送るサイトが1つだけならよいですが、
メインサイトを複数作っていくと、
1記事で2〜3個リンクを貼ることになります。

そのとき、それぞれのアンカーテキストをうまく入れながら、
記事を作らなければいけないので、かなり手間がかかります。

しかも、その記事を投稿するブログの数と同じ20個、
文章を変えながら考えなければいけません。

ハッキリ言って、相当手間ですので、
ブログ削除の可能性は少し高まりますが、
後者の方がよいと思います。

アフィリエイトリンクを貼るメインサイトが複数できると、
1回の更新で複数のリンクを貼ることになりますが、
あまり何個もリンクを貼らないようにしましょう。

1回の更新で2～3個、

多くても5個くらいまでにしておいた方がよいと思います。

リンクの数が多くなると、リンク効果が落ちますし、
ブログ会社にSEO目的のブログと判断され、
削除される可能性が高くなるからです。

もちろん、リンクを2個しか貼っていなくても
削除されるときは削除されますが、
リンク数が多いほど危険も高くなるので、注意してください。

▼リンクはトップページ以外にも送って分散させる

リンクを送るURLはメインサイトの
トップページではありません。

カテゴリ記事や各記事にもリンクを送りましょう。

※トップページ以外の下位記事に送るリンクを「**ディープリンク**」といいます。

トップページだけにしかリンクがないと、
検索エンジンから不自然に見られる恐れがあることも理由の1つですが、
それ以外にも、**各記事ページも検索エンジンからの評価を高めたいから**です。

各記事ページについても、
あらかじめニーズのあるキーワードを元にタイトルを決めています。

各記事ページも上位表示されれば、
より多くのアクセスを拾うことができますので、
各記事にもディープリンクを送ってください。

ただし、すべてのページにディープリンクするのは大変ですので、
5 ページ程度、記事を選びリンクしましょう。

選ぶ際は、キーワードチェックサイトで、
より検索回数の多いキーワードや
購買意欲の強そうなキーワード記事を選ぶとよいでしょう。
※ただし、あまり悩みすぎないように。直感的に選んで OK です。

ちなみに、トップページと他のページへのリンクの割合ですが、
3 対 1 くらいでいいと思います。

つまりトップページに 15 回、下位記事に 1 回（5 記事選ぶ）の配分です。
※ただし、あくまで目安なので、いちいちトップページに何回リンクを貼った
などと数えなくても OK です。感覚的に 3 対 1 くらいであれば大丈夫です。

▼リンクを送る回数

同じブログからリンクを送る回数ですが、
私の場合は最低でも 3 回以上送っていました。

リンクは 1 回貼ったからと言って、
必ず検索エンジンに認識されるわけではなく、
認識されないことも珍しくありません。

そのため 1 回だけでは不十分で、何回かリンクを貼った方がよいです。

何回リンクすれば、認識されるか明確な基準はありませんが、
最低でも 1 つのブログから 3 回は送った方がよいと思います。

20ブログから最低3回ずつリンクを送るので、
60回以上の更新が必要になります。

ちなみにこれはトップページの話で、
各記事ページについては認識させるまで、
何回も送るということはしていません。

手間もかかるため、
だいたい各ブログ1回ずつリンクを貼って終わりにしています。

もちろん、時間がある場合は各記事ページも
検索エンジンに認識されるまでやった方がよいです。

▼アフィリエイトリンクは絶対貼らない

サテライトブログにも楽天などのアフィリエイトリンクを貼った方が
多少でも収入が増えるので良いのでは？感じる方もいるかと思いますが、
私としてはお薦めはしません。

なぜかと言いますと、
アフィリエイトリンクが貼ってあると発リンク数が増えるので、
メインサイトへのリンク効果が分散されてしまいますし、
アフィリエイトリンクの多いサイトは検索エンジンからも評価が低くなるからです。

※**発リンク**=リンクを送ること。一般に発リンク数より被リンク数の多いサイトの方が検索エンジンの評価が高いと言われています

サテライトブログで稼げる額なんて、
大した金額ではないので、「評価が下がるリスク」を
考慮するとやめた方がいいです。

その分メインサイトの評価をあげて、
メインサイトで稼げるように専念したほうが効率的だと思います。

■ ソーシャルブックマーク（S B M）

サテライトブログと併せて行うのが、ソーシャルブックマークです。

ソーシャルブックマークとは、
要するに自分の好きなサイト（ブログ）を登録しておくサービスです。

登録しておけば、わざわざ検索したりしなくても、
サイトにアクセスできるので、とても便利ですね。

通常、お気に入り（ブックマーク）登録すると、
登録したパソコンにしか記憶されませんが、
ソーシャルブックマークはネット上のサービスですので、
そのアカウントでログインすれば、
どのパソコンからもブックマークを利用できます。

また設定によって、ブックマークしたサイトのリストを
第3者と共有することができます。

自分のブックマークを「公開する」と設定しておく、
誰でもあなたのブックマークリストを見ることができるわけです。

当然、検索エンジンも見ることができ、
1つのリンクとして認識をしてくれます。

ですので、ソーシャルブックマークに登録されている数が多ければ多いほど、被リンクも多くなりますので、登録されるサイトの評価は高くなります。

ソーシャルブックマークに SEO 効果があるというのは、こういった理由からです。

本当に人気のあるサイトは、第3者がどんどんソーシャルブックマークに登録してくれますが、できたばかりのサイトだと、なかなかむずかしいので無料ブログと同じように自分でソーシャルブックマーク登録を増やしていきます。

はじめは目安として10個、各ソーシャルブックマーク会社でアカウントを取得してください。

おすすめのソーシャルブックマーク会社は特典のソーシャルブックマークリストにまとめてありますので、参考に見てみてください。

▼ジャンル分けして登録をする

無料ブログと違って、1つのアカウントで登録するサイトは同じジャンルのものに限定しましょう。

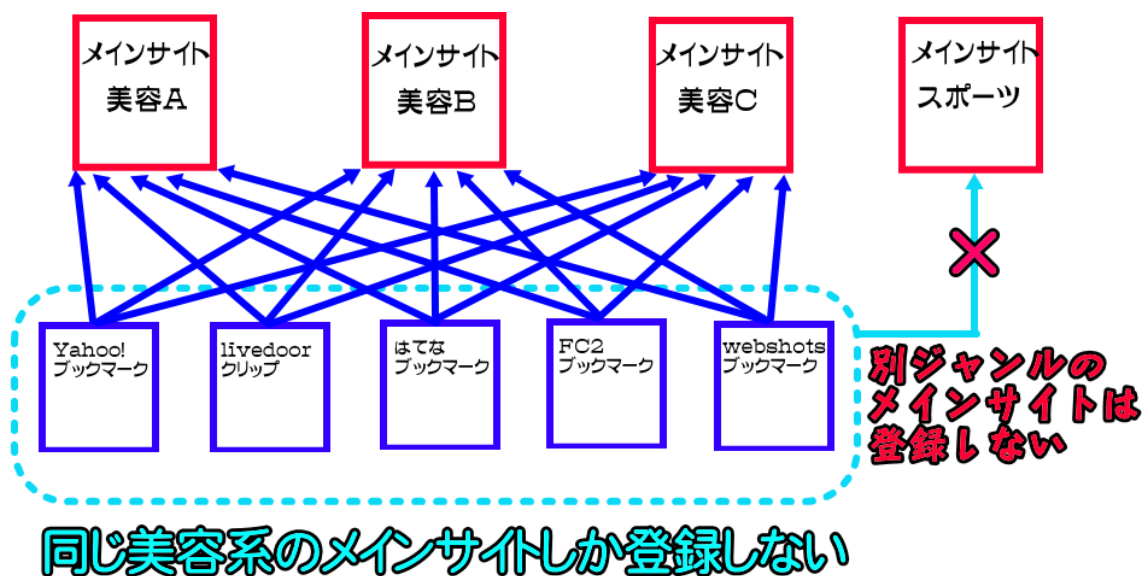
はじめのうちは同じジャンルでメインサイトを作っていきますが、ある程度サイトを作ったら、別のジャンルでサイトを作っていきます。

このとき、それまでと同じアカウントで

ソーシャルブックマーク登録をするのではなく、別のアカウントを用意して、登録をしましょう。

1つのアカウントに美容系のサイトや、スポーツ系、勉強系など、いろいろ登録されているより、美容系なら美容系のサイトだけ入っていた方がリンクの効果が高くなるからです。

ですので、メインサイトのジャンルが変わるときは、
また10個、各ブックマーク会社のアカウントを取得しましょう。



■ブログのコメント周り

ブログのコメント周りとは、他者が運営しているブログを訪問し、コメントを残していく作業を指します。

その際、URL 欄に自分のサイトを入力しておくことで、そのブログからリンクが貼られます。

この記事にコメントする

名前: アンカーテキストを入力

メール:

URL: 自分のサイトURLを入力

情報を記憶: ☐ 評価: -- ☐ 顔 ☐ 星

記事に関するコメントを書く

記事に関係ない
適当なコメントは
書かないこと

名前欄に記入した文字でリンクが貼られますので、ここにアンカーテキストを入力します。

相互リンクと違い、相手から一方的にリンクがもらえるので、SEO 効果が高いですし、コメントするだけでリンクが貼られるので、無料ブログやソーシャルブックマークよりも簡単にできます。

ただ、他人のブログにコメントをしてリンクを貼りますので、場合によってはコメント自体を承認してもらえなかったり、削除されてしまったりすることがあります。

そのため、やり方は簡単ですが、数をこなさないとなかなか効果が出ないのがデメリットです。
それでは、ブログのコメント周りで気をつける点を紹介していきます。

▼被リンクを受けるサイトと関連したブログにコメントする

ソーシャルブックマークと同じで、
同じジャンルもしくは関連ジャンルのブログにコメントをしていきます。

ジャンルに関連性があるとリンク効果が高まりますし、
コメントも削除されにくくなります。

自分がダイエット系ブログの運営者だとして、
コメントで同じダイエット系サイトのリンクを貼られるのと、
全然関係のない株式投資サイトのリンクを貼られるの、
どちらがうれしいですか？

当然、同じダイエット系サイトのリンクの方がいいですし、
全然関係のない株式投資サイトのコメントは削除したくなると思います。

▼コメントの書き方

ちなみにコメント欄は手抜きをせず、
相手方の記事をちゃんと読んだ上で、書いてください。

記事に関係ないコメントやリンクをあからさまに貼るのが目的のコメントは
ブログの運営者も喜びませんし、かえって迷惑になります。

ブログの運営者によっては、コメントを削除してしまうかもしれないし、
コメントを承認制にしているブログだと承認してもらえません。

するとリンクを送ってもらうことはできず、
せっかくブログを探してコメントした意味がありません。

お互いのためにも、ちゃんと記事内容を読んだ上でコメントしていきましょう。

▼コメントするブログの探し方

コメントするブログは Yahoo カテゴリの中から探します。

前にもお伝えしましたが、
Yahoo カテゴリに登録されているサイト（ブログ）は、
Yahoo が優良と認めたサイト（ブログ）で、
Yahoo で検索したときも上位表示されやすくなっています。

それほど SEO 効果が高くなるものなので、
同じ被リンクをもらうなら、当然 Yahoo カテゴリに
登録されているブログの方が SEO 的によいわけです。

ただ、Yahoo カテゴリに属していれば何でもいいのかというと、
そうではありません。

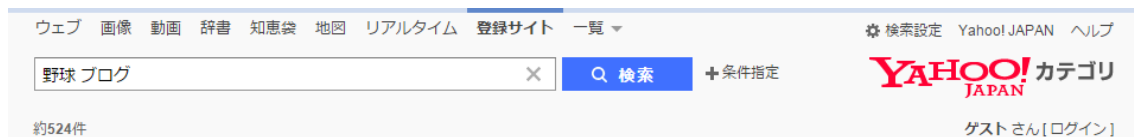
Yahoo カテゴリというだけでも効果はありますが、
できればメインサイトと同じジャンルのブログから
リンクを送った方が効果的です。

ですので、同じジャンルの
Yahoo カテゴリブログを探していきましょう。
探し方は簡単で、まず Yahoo カテゴリのページを開きます。

『Yahoo カテゴリ』
<http://dir.yahoo.co.jp/>

ページの一番上に検索窓がありますので、
『(サイトのテーマ) ブログ』と入力して、検索します。

今回は『野球 ブログ』で検索します。



『(サイトのテーマ) ブログ』で検索

すると、Yahoo カテゴリに登録されている
野球関連のブログが表示されました。

約524件

カテゴリとの一致

2件

📁 [野球選手によるブログ](#)

📁 [野球選手によるTwitter](#)

📁 [著名人によるブログ](#)

- [団野村 - ブログメント](#)

元野球選手、アメリカスポーツ界における交渉代理人の団野村によるブログ。

📁 [野球選手によるブログ](#)

- [藤井秀悟 - 野球小僧](#)

藤井秀悟によるブログ。

- [吉井理人 - 吉井理人オフィシャルブログ](#)

吉井理人によるブログ。

- [石井琢朗 - 超琢朗主義](#)

石井琢朗によるブログ。

- [中田翔 - 野球道](#)

中田翔によるブログ。

- [高橋尚成 - 高橋尚成オフィシャルブログ](#)

高橋尚成によるブログ。

- [角中勝也 - 角中勝也オフィシャルブログ](#)

角中勝也によるブログ。

- [下柳剛 - 下柳剛オフィシャルブログ](#)

下柳剛によるブログ。

- [川岸強 - 川岸強の野球選手ブログ](#)

川岸強によるブログ。

- [G.G.佐藤 - 野球も、人生も、キモディー！](#)

G.G.佐藤によるブログ。

この中から、コメント周りをしていきましょう。

ただ、Yahoo カテゴリ内のブログからリンクが集中していると不自然なので、Yahoo カテゴリ以外のブログにもコメント周りをした方がいいですね。

各ブログサービスのトップページを見ると、
人気ブログランキングなどがありますので、
その中からコメント周りをしてもいいですし、
ジャンル分けされている場合は、
関連ジャンルのブログからコメントしてもいいですね。

また、ジャンルも100%同じジャンルに統一する必要ありません。

基本的にメインサイトと同じジャンルがよいということなので、多少は別ジャンルからの被リンクがあっても大丈夫です。

■他にもある！ 外的 SEO

これまでに紹介した無料ブログ、ソーシャルブックマーク、ブログのコメント周り以外にもリンクを送る方法があります。

代表的なものを、ざっとあげていきますね。

- ・中小検索エンジン
- ・相互リンク
- ・サテライトサイト（独自ドメイン）

それぞれ簡単に説明をしていきます。

▼中小検索エンジン

代表的な検索エンジンと言えば、Yahoo、Google、Bing などですが、実は他にも検索エンジンはいろいろあります。

規模はYahooなどに全然かないませんが、これらの検索エンジンをまとめて「**中小検索エンジン**」と呼びます。

この中小検索エンジンに登録しますと、登録ページにリンクが貼られますので、自分のメインサイトにリンクを送ることができます。

ただ、以前にくらべると
中小検索エンジンの効果は落ちてきていると感じています。
なので、あくまでオマケくらいに考えておいた方がいいでしょう。

なお中小検索エンジンによっては、
相互リンクを条件にしているものもあります。

相互リンクにすると、自分のサイトの発リンクが増えますし、
一方的にリンクをもらう場合と比べ、効果が落ちます。

ですので、もし登録するときは相互リンクが条件でない
中小検索エンジンを選ぶとよいでしょう。

▼相互リンク

しっかり相互リンク先を選び、相互リンクをすれば、
外的 SEO の中でもかなり効果がある方法です。

ただし、相互リンク先を見つけるだけでも大変ですし、
さらにリンクを貼り、相互リンク依頼のメールを送り、
相手に承諾してもらって始めて成立しますので、
手間と時間がとてもかかります。

しかも、できたばかりのサイトでは
相手もなかなか相互リンクを OK してくれませんので、
ある程度サイトが軌道に乗ってから、取り組んだ方がいいと思います。

詳しい相互リンク手順については後の章で、解説します。

▼サテライトサイト（独自ドメイン）

サテライトブログのサイト版です。

独自ドメインのサイトから、
アフィリエイトリンクを貼ったメインサイトにリンクを送ります。

独自ドメインのサイトを自分で用意する形になるので、
コストはかかってしまいますが、
独自ドメインから一方的にリンクをもらえるので**効果は高い**です。

メインサイトと同じジャンルでサイトを作り、
リンクはトップページから貼るとリンク効果が高くオススメです。

リンクを貼る場所は記事の中でもいいですし、
サイドバーに貼ってもよいと思います。

なお、サテライトサイトを作る場合は、
メインサイトを置いているレンタルサーバーとは
別のレンタルサーバーを使用します。

同じサーバーだと必ずしも問題があるというわけではありませんが、
できれば分けた方がよいでしょう。
検索エンジンはサイトが置かれているレンタルサーバーの情報も
チェックしますので、同じレンタルサーバーからのリンクは、
自作自演の疑いもあり、効果が高くありません。

やりすぎると最悪ペナルティを受ける場合もあるため、
サテライトサイト用にレンタルサーバーを借りるようお勧めします。

また、サテライトサイトも数が増えていくと、
同じレンタルサーバーのサイトからばかり
リンクが送られるようになるため、
ある程度増えてきたら、サテライトサイト用のレンタルサーバーも
複数契約をした方がよいでしょう。

実際私もサテライトサイト用のサーバーを3つに分けて借りています。

コストはかかりますが、3つに分けて独自ドメインのサイトから
リンクが送れるのでリスクも減り、お薦めです。

サテライトサイトは効果も高いので、
稼げるようになってきたら、検討してみてください。

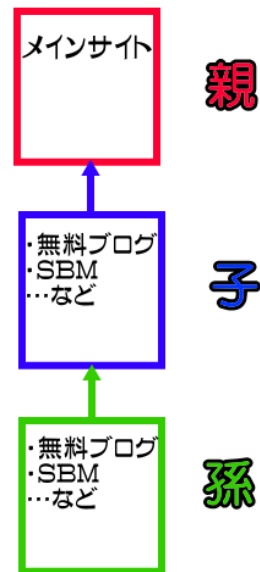
以上で、各手法の説明を終わりにします。

基本的には、はじめにあげた無料ブログ、ソーシャルブックマーク、
ブログのコメント周りの3つを「丁寧に」しっかりやってください。
もし、余裕ができたならその他の方法もやってみてください。

この3つだけでも、焦らずきっちりやれば効果があります。

■リンクの階層構造について

無料ブログ、ソーシャルブックマークなどでリンク元を用意し、
「孫」⇒「子」⇒「親」という階層構造でリンクを送っていきます。



一応、「孫」までリンク元を作るようお伝えしましたが、
余裕があれば、その下の「曾孫(ひまご)」「玄孫(やしやご)」などを作り、
階層を増やしていただいて構いません。

そこまでやれば、かなり深い位置からリンクを送ることになりますので、
ただサテライトブログからメインサイトにリンクを送るより、
はるかに効果が高くなります。

なお、階層構造を作る際の注意点ですが、

「子」と「孫」ですべて同じサービス会社を使うことはやめましょう。

はじめに「子」用の無料ブログを 20 個開設しますが、
その後、「孫」用の無料ブログを 20 個開設するとき、
「子」用のブログ会社と 20 個まったく同じなのはよくないということです。

これは同じドメインからリンクから送られるより、
違うドメインからリンクが送られた方が効果が高いためです。

多少は被って OK ですが、
すべて同じなのは効果が落ちるため避けましょう。

もちろん、ソーシャルブックマークの場合も同様です。
「子」用を取得した 10 個のソーシャルブックマーク会社と
「孫」用を取得するソーシャルブックマークが
10 個とも同じにはならないようにしてください。

なお、ブログのコメント周りに関しては、
特に「子」「孫」など区別をしていません。
メインサイト管理表でも登録などはしていません。

■リンクファームに注意！

これまで説明してきたように、
無料ブログやソーシャルブックマークを作成していくと、
段々と管理がむずかしくなってきます。

特に「子」グループだったか、「孫」グループだったか、
ごっちゃになってしまうこともあります。

ごっちゃになってしまうと、[リンクファーム](#)と言って、
検索エンジンから自作自演のリンクを組んでいると判断されてしまいます。

リンクファームのペナルティは、一気に検索圏外になることもあるので、
作成した無料ブログ、ソーシャルブックマークは
「子」グループ別、「孫」グループ別に、エクセルで管理しておきましょう。

なお、メインサイト同士の相互リンクも止めておいた方が無難です。

多少であれば問題ないと思いますが、数が増えればリンクファームの対象になってもおかしくありませんので、注意しましょう。

以上で、SEO 編の解説を終わります。

一個一個丁寧に組み立てれば、やがて大きな力になりますので地道な作業にはなりますが確実に組み立てていきましょう！